

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2025年4月14日
第1号

入学式

96名が期待を胸に

4月8日、令和7年度入学式が挙行された。96名の新入生は緊張した面持ちで入場していたが、呼名されると元気に返事をしていた。

担任は1組（特進）大島岳晴先生（生物）、2組（総進）長谷川由紀子先生（家庭・学年主任）、3組（総進）玉川祐介先生（体育）、4組（総進）中村修平先生（体育）です。

1組担任の大島先生を先頭に入場



3組の高野真衣さんが誓いの言葉を宣言した。

新入生代表として誓いの言葉を述べた高野真衣さん（岩内第二中出身、吹奏楽部）にインタビューした。

楽器はトロンボーン担当。本校に吹奏楽部があること、またドリムプロジェクトで将来の道を探したいと思い、入学を決めた。得意教科は化学。「自分を高め、進学して、社会に貢献できる人になりたい」と語る。吹奏楽では華やかにソロを演奏するよりもハーモニーを裏で支えるタイプだという。好物はエビフライ。高校生活での活躍が期待される。

新任の先生方



事務
北本亮輔さん

事務職員の北本亮輔さん（28歳）は札幌市の児童会館の職員をされ、0歳から18歳と幅広い年齢層と関わってこられた。昨年度から本校のバドミントン部の外部

バドミントンの指導はお任せ

コーチをされていたのがきっかけで今年度本校に勤務されることになった。休日の過ごし方は「バドミントンの指導」、「ポケポケ」、もちろん、バドミントン部の顧問となる。

バドミントン上達の極意をかけて下さい。」

は「シャトルをよく見ること」。「本校の部員は自分たちが思っているよりも上手にプレーできているので、自信を持てば、もう一皮向ける」と期待している。

好きな番組は「なんでも鑑定団」、マンガもよく読む。「高校生とも一緒に話したり、スポーツをしたりしていたので、気軽に声をかけて下さい。」



国語科
東 龍徳 先生

国語科の東龍徳先生（60歳）は札幌月寒高校（定時制）を退職されて、本校に赴任された。「たき火を見るのが大好き」とのこと、お子さんが小さい頃からキャンプを楽しまれ、最近ではたき火を眺めにソロキャンプ

に行くという。温泉巡りも趣味の一つだ。そういうわけで休日は「夏はキャンプと温泉巡り、冬は温泉、この春から家庭菜園を始めます」という。

好きな俳優は米倉涼子と寺島進、テレビはニュースゼロやZIPなどの情報番組を見ている。

さわやかな挨拶で
良い一日を始めよう

「ドラマはあまり見ない。情報番組はいつでもやっているし、途中から見てもわかるのでいい。」

高校時代は長崎で三年間バスケットボール部に所属し、朝から晩まで練習していた。

「本校は生徒の挨拶が気持ちがいい。前任校はそうではなかった。」

「3年ぶりの全日制勤務になります。さわやかな「おはようございます」を交わしましょう。皆さんと楽しい時間を共有できたらと思っています。」



英語科
風林 敦 先生

英語科の風林敦先生（61歳）は札幌北高校を退職され、本校に來られた。趣味は音楽鑑賞で好きな作曲家はバッハやベートーヴェン。「バッハだとフーガがお勧め。フーガやカノンと同じ旋律が変調されて何度も流れて

**クラシック大好き
勉強のBGMにもお勧め**

いくところがいいです。また、バッハやモーツァルトの曲はBGMにすると文系の暗記に役立ちます」という。

好きなテレビ番組はプレバト、ちいかわも好きだ。休日は音楽鑑賞をしたり、野球、サッカー、ゴルフなど、テレビでスポーツ観戦して過ごす。

先生は苫小牧東高校出身。「少し変わった学校祭をしていました。ステージは使わず、各教室で演劇やクイズなどの出し物をしていました」という。

本校について「真面目な生徒だという印象を持ちました。対面式を見て、生徒と先生の距離が近くていい学校だと感じました。」と印象を語り、「初心に返って、皆さんと共に私もまだまだ成長したいと思いますので、よろしく願います」と結んだ。